

令和4年度

# 事業計画書

令和4年 4月 1日から

令和5年 3月31日まで

公益財団法人 九州文化協会

## 第54回九州芸術祭事業計画書

1. 名称 令和4年度 第54回九州芸術祭
2. 令和4年4月1日～令和5年3月31日
3. 事業内容

### A. 九州芸術祭文学賞

九州芸術祭文学賞は昭和45年から九州・沖縄全域を対象に実施しており、令和3年度で第52回（芸術祭としては53回）を迎えました。賞の目的は新人の優れた文学作品（小説）を発掘して広く全国に紹介する事によって九州の文学界に刺激と活力を与え、地域の文学水準の向上を計ることにあります。

最優秀作は毎年、文藝春秋発行の「文學界」4月号に掲載されますが、これまでの受賞者の中から芥川賞受賞作家や、芥川、直木両賞の候補者が何人も出るなど、その伝統と実績で地域に広く定着しています。このような実績とともに、広域地方圏からの公募という全国に類を見ない方式はユニークな文学賞として大いに注目されています。

九州文化協会は九州、沖縄8県と福岡、北九州、熊本市、3政令都市の助成金で、この賞を運営しています。作品の募集はこれら九州の11自治体で毎年5月に応募要領を発表し、8月末締め切り。原稿用紙55枚から60枚の未発表の小説を募集、各地自治体ごとに審査して地区優秀作と次席を決定します。このうち地区優秀作11編を翌年1月、東京での最終審査に移して選考、最優秀作1編を決定します。佳作の作品がある場合は1～2編を決めることもあります。

最終審査員は創設以来の作家・五木寛之氏をはじめ、作家の村田喜代子氏、又吉栄喜氏、文藝界編集長の丹羽健介氏、地区優秀作はその地区の新聞に掲載することもあります。最優秀作や佳作とともに作品集に収録、一般に販売するほか関係方面に配布します。

### B. 九州芸術祭文学賞表彰式・記念講演

文学賞の表彰式、記念講演会を令和5年3月に開催する予定です。

開催地、会場、講演者は未定です。

### C. 九州芸術祭巡回講演会「文学カフェ」

文学への関心を喚起することを目的に平成24年度スタートしました。

九州・沖縄各地区を巡回して対談やトーク形式で実施します。

これまで、福岡市（平成24年度）、那覇市（平成25年度）、鹿児島市・熊本市（平成26年度）、大分市（平成27年度）、佐賀市（平成28年度）、熊本市・沖縄県・福岡市（平成29年度）、福岡市（平成元年度）、福岡市・熊本市（令和2年度）、長崎市・北九州市（令和3年度）で実施しました。

令和4年度は「文学カフェ」を2回開催する予定です。1回目は5月14日に大分県日田市日田市民文化会館（パトリア日田）で、歌人の俵万智氏を講師として予定しています。2回目の開催地・講師等は現在検討中です。

## D. 舞台公演など

- 福岡県
- ・事業名 第30回ふくおか県民文化祭2022
  - ・実施時期 令和4年10月～12月
  - ・会場 県内各地
  - ・内容 演劇公演や趣向を凝らしたコンサート、子どもたちが芸術文化や伝統文化を体験したり学んだりする講座など、県民の皆さんに、文化芸術を鑑賞・参加・創造する機会を提供する。
- 福岡市
- ・事業名 福岡市民芸術祭オープニングイベント  
(親子芸術体験事業)「ケッチフレンズ(仮)」
  - ・実施時期 令和4年9月23(金)～9月25日(日)
  - ・会場 なみきホール(東市民センター)
  - ・内容 ケッチ氏(元が～まるちよば)が福岡へと拠点を移したこの期を捉えて、アーティストとともに、大人だけでなく子どもも楽しめる「ノンバーバル」のフィジカルコメディ舞台を新たに創作することで、幅広い層の市民が質の高い舞台芸術に触れる機会を創出するとともに、「福岡発」の作品として提供していく。あわせて、ワークショップによる体験をより充実させ、地域住民とアーティストが触れ合う場づくりを行う。
- 佐賀県
- ・事業名 第60回佐賀県文学賞
  - ・実施時期 令和4年6月～8月
  - ・会場 佐賀県内
  - ・内容 県内から文芸作品を公募・顕彰することにより県民の文学活動の充実を図る。
- 長崎県
- ・事業名 第49回長崎県新人演奏会
  - ・実施時期 令和4年6月19日(日)
  - ・会場 アルカス SASEBO
  - ・内容 県クラシック音楽家の登竜門としての演奏会を開催し、優れた演奏家の育成及び本県の音楽文化の振興を図る。
- 熊本県
- ・事業名 第64回熊本県芸術文化祭
  - ・実施時期 令和4年8月～12月(予定)
  - ・会場 熊本県内一円